

2年に1度実施されている診療報酬改定ですが、今年度は6年に一度の医療・介護・障害福祉サービスのトリプル改定となります。今回の診療報酬改定のポイントを精神科を中心に高野悠平事務課長に聞いてみました。

広報委員：今回の改正の概要を教えてください。

高野事務課長：まず診療報酬とは、医療機関が保険医療サービスの対価として保険者から受け取る報酬の事で、患者さんは外来診療や入院診療などの保険医療サービスを受けた際にこの一部を窓口で支払い、残りは公的医療保険から支払われます。前回2022年4月の改定は、コロナ感染症対策を軸にしたものと入院診療の充実を目的にした診療報酬の改定でした。今回の診療報酬改定では、昨今の物価高騰や賃金上昇等を背景に賃金のベースアップによる人材の確保や経営の安定化を重視しながら、持続性の高い医療の提供や、前回も触れられていた「2025年問題（団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり社会保障費の急増、働き手不足などの問題の総称）」の高齢者の医療・リハビリ・介護・栄養等を包括的に支援していく「地域包括ケアシステム」を反映させたものが柱となっています。精神科では早期の退院支援体制・特定の外来診療の充実に対して評価されるものとなったようです。

表 通院・在宅精神療法

		改定前	改定後
《初診》 30分以上 の診察	精神保健指定医	560点	600点
	精神保健指定医以外	540点	550点
《再診》 5分以上30 分未満	精神保健指定医	330点	315点
	精神保健指定医以外	315点	290点

広報委員：精神科で具体的に新設されたものや変更点がありますか？

高野事務課長：入院関係では、新しく「精神科地域包括ケア病棟」という入院料の施設基準が新設されました。これは他職種が共同して、精神疾患を抱える方の地域移行・地域定着に向けた重点的な支援を行うことが目的とされています。それに加えて、専従または専任の精神保健福祉士や看護師を設置したうえで7日以内にアセスメントをするカンファレンスを実施し、指定された箇所の相談支援事業所や施設・他医療機関と連携体制を整えると退院時に算定できる「精神科入退院支援加算」も追加されました。外来関係では多くの方に関係がある「通院・在宅精神療法」で変更がありました。初診60分以上のものに対して点数の引き上げがあった一方で、30分以下のものについては、実質点数が引き下げられた形となりました。詳細は表をご確認ください。また初診時診療が30分以上の件数が全体の5%を超えるなどいくつかの条件を満たすことで算定ができる「早期診療体制充実加算」も新設されたほか、心的外傷に起因する症状を有する方に対して、医師の指示を受けた公認心理師が30分以上カウンセリングを実施すると算定ができる心理支援加算も新設されました。

広報委員：今回の改正に伴い、高野事務課長からお願いがあるそうですね。

高野事務課長：そうですね。今回の改正で物価高に伴い入院されている患者さんの食事にかかる患者自己負担金（4面お知らせ参照）が6月1日より一般で1食30円値上がりすることになりました。当院では、すでに5月の入院費のご請求時に「入院時の食事にかかる負担額が変わります」というお知らせを同封して周知に努めています。何卒ご理解とご協力のほどよろしくお願い致します。

部署紹介

第3回 医局

今回の部署紹介は医局になります。まずは医局とはですが、Google先生に聞くと「医師の執務室、控室のことを指す。」と教えてくれます。全くもってその通りですが、部署紹介でこれで終わりでは許していただけないので、もう少し詳しく説明したいと思います。

まずメンバーは、常勤精神科医が6名、非常勤内科医が2名の9名となっています。ホームページにあるように医局は大部屋で、医局員同士はいつも顔を合わせ、臨床や病院経営上の問題、医師獲得の作戦などその他もろもろの事について日常的に情報交換を行えるようになっています。また、各医局員の出身大学は日本全国（少し言い過ぎかもしれませんが）に散らばっており、個性豊かな医師が揃っています。色々説明しましたが、望月名誉院長の退任式での集合写真の雰囲気を見ていただいた方が早いのではないかと思います。ウトナイ病院医局とは右の写真の通りです！！

※望月名誉院長の横に立つと片岡理事長も高木院長も若手になってしまいますね。そして、重富先生も。



Dr. 望月の日々雑感

今月より『Dr.望月の日々雑感』が始まりました。望月医師が日々感じていること綴っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

老後をどう過ごす？どうしてフランス語？

なにか書けと片岡先生に言われた。はいと返事はしたものの何も浮かんでこない。仕事をやめ、呆然と過ごし、春から秋までは阪神タイガースの勝ち負けが、毎日の生活で一番気になる事柄で、シーズンオフは呆然と過ごしている。家にばかりいるのも、歓迎されるはずもなく、週に一回は横浜でフランス語学校に通っている。当然横浜の家主たる娘はいい顔をしない。しかし授業後の仲間との昼食というかアルコールの注入が、何よりの起爆剤となり、元気を取り戻してくれる。横浜ではいくつかの店をその時、その時の気分で選び、いつものメンバーと一緒に飲み食いしながら、おしゃべりしている。専門が全く違うので、新鮮な情報やそれぞれの生き様が分かってくる。

老後どう生きればいいのか、考えても解決できる問題ではないように思う。いずれは襲って来るであろう、いや既に立派な認知症なのかもしれないが。かすかな抵抗としていまだに通っているフランス語について話してみます。

てんかんの勉強をするために、フランス政府留学生として2年間の間パリの病院で勉強をしました。フランス語は英語より取っ付きにくいと思われているようだが、そんなことはない。ブジュブジュとしか聞こえないという人が多い。しかし英語よりはるかに規則的で、スペルも一度覚えると例外は殆どなく、書いてある通りに読めばいいだけである。動詞の活用が英語よりやや複雑だが…。映画などでは俳優さんが「ぼちょぼちょ」と聞こえるが慣れるとあまり例外がなく、決められた発音や動詞の変化は英語よりも圧倒的に少ないことが分かってくる。慣れればわかると言ってしまえば簡単だが…。やはり一定の時間とお金が必要だろう。学校ではフランス人の先生が、わかりやすく教えてくれる。フランス政府が認める、一定の資格を持った先生が日本に来て教えてくれていると想像しただけでも、素敵だと思いませんか？当然美人やイケメンの若い先生達もいらっっしゃいますよ。私のクラスの先生はピエールと言うイケメンで、慶応大学でも講師として働いています。



精神科医 田中 尚朗

第15回 2つの鉄道に取り残された路線

みなさんこんにちは。今日はボストンから約11km離れたニュートンという街にあった廃線について取り上げたいと思います。1681年に設立されたこの都市は13の村から構成されており、それぞれの特色と独立性が強く残っているのが特徴です。ネイティブ・アメリカンの中で初めてキリスト教に改宗した部族の名前にちなむ「ワバン」というのも、そういった村の一つです。

現在、街には東西に走り抜ける2本の鉄道があります。この形に落ち着くまでは、やはり複雑な歴史がありました。まずあがるのは、州中部の大都市ウースターに至るボストン・アンド・ウースター鉄道で、1867年に開通しています。同社は他社と合併を繰り返し、ボストン・アンド・オールバニー鉄道(B&A)という、ニューヨーク州北部もカバーする巨大会社となります。さらに同社は、ボストンからニュートンの手前のブルックリンという街まで枝線を引いていました。

そのブルックリンからニュートン、そしてさらに南西を目指したのがチャールズ・リバー鉄道で、1852年から街の南西端にあるニュートン・アップパー・フォールズという村まで運行を開始しました。その後ニューヨーク・アンド・ニューイングランド鉄道という会社の一部となり、路線をロードアイランド州まで伸ばしました。

しかし、1883年、同社はブルックリンとニュートンに属する部分をB&Aに売却します。ボストン-ブルックリン-ニュートンの路線は「ハイランド支線」と呼ばれるようになりました。1958年、この支線は放棄され、公共鉄道のMBTAが一部を引き継ぎます。この際、ニュートン・アップパー・フォールズへの線路は残りませんでした。

その後、廃線跡は放置されていたようですが、2011年に遊歩道への改装計画が持ち上がり、現在では街の人々に愛用されています。もっとも、鉄道ファンとしては「そのままにしておけ」と思うかもしれませんね。



苦小牧は山桜の花びらが風に舞い花冷えのような頃、桜前線は根室に達し、今年のさくらもそろそろ終わりです。先日、久しぶりに散策した「金太郎の池」では鳥たちが集い、水辺でゆく春を惜むかのような風景がありました。

さまざまな、こと思ひ出す 桜かな（芭蕉）

古代から梅と並び、日本人のさくら好きはよく知られ、たくさんの和歌や俳句が詠まれてきました。花を愛でる理由や好みのさくらの種類、咲き方、見方も人それぞれにありますが、さくらへの思いは、歳月を重ねるごとに変化をしてゆきます。

老桜 人のとよみに 咲き倦める（日野草城）

若い頃は関心が薄かったさくら、いつの頃からか春が近づくと、老骨にさくらの精霊が「あと何回、生きている間に会うことができるかしら」とささやくようになりました。その声を聴くと心穏やかになれず、さくらの「推し活」を行うようになりました。植苗病院のさくらも気になり足を向けました。人気のない木立、鄙びた東屋を囲み、こぶしとさくらが仲良く静かに咲き誇り、もう少し自分ができることを探してみようという力が湧きました。

(M.K)

※植苗病院前庭のこぶしとさくらの画像はブログにて公開中です。

<https://blog.goo.ne.jp/samurai-project>

お知らせ

◆ 入院中の方へ手続きのお願い ◆

入院時食事代標準負担額の減額認定及び入院医療費の限度額適用認定、国民健康保険証、後期高齢者医療被保険者証、ひとり親・障害受給者証の有効期限が7月31日までとなっておりますので、**8月中**に各市町村などの窓口で手続きをしていただき、新しい認定証をウトナイ病院事務に提出をお願いいたします。ご不明な点がございましたら各市町村などの窓口又はウトナイ病院医事課までお問い合わせ下さい。



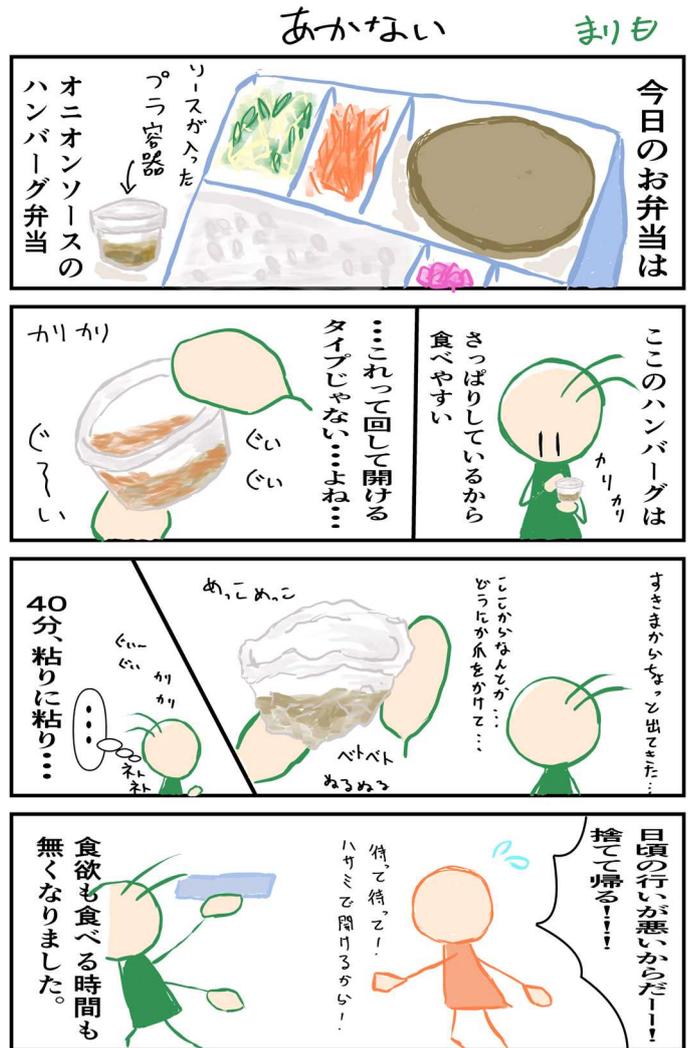
◆ 入院中の皆様ならびにご家族様へ ◆

2024年6月1日より入院時の食事にかかる患者負担額が変わります

近年の食材費等が高騰していること等を踏まえ、健康保険法ならびに高齢者の医療の確保に関する法律の規定に基づき、入院時の食事にかかる患者負担額が以下の通り変更になります。

		負担額	
		5月31日～	6月1日～
①	一般の方	460円/食	→ 490円/食
②	住民税非課税の世帯に属する方(③を除く)	210円/食	→ 230円/食
③	②のうち、所得が一定基準に満たない方	100円/食	→ 110円/食

- ※ 指定難病又は小児慢性特定疾病の方は260円から280円へ変更となります。
- ※ オンライン資格確認で減額認定区分が確認できない場合、保険者が発行する「限度額適用・標準負担額減額認定証」等の提示が必要になります。
- ※ ご不明な点がございましたらウトナイ病院事務課入院担当までお申し出ください。
社会医療法人こぶしウトナイ病院 院長



発行
社会医療法人こぶし広報委員会
苫小牧市ウトナイ南2丁目1-8
TEL:0144-84-5561
<http://www.uenae-hp.or.jp/>



市電の窓から

〈後記〉

最近の乗り物は窓が開かないのが当たり前になっています。先日、函館の観光市電「ハイカラ号」に乗ったら窓が開くので思わず顔を出してしまいました。昔はよくこうやって乗ってたなーと郷愁に浸りました。

(K.K)